

『統計検定データサイエンスエキスパート対応』1→2刷（予定）正誤表

該当箇所	誤	正								
p.26 下から 9行目	正規分布の上側 $\alpha/2$ 点を	標準正規分布の上側 $\alpha/2$ 点を								
p.80 4~5 行目	正規直交規定	正規直交基底								
p.86 14行目	$v = \sum_{i=1}^r (\mathbf{y} \cdot \mathbf{z}_i) \mathbf{z}_i = \left(\sum_{i=1}^n \mathbf{z}_i \mathbf{z}_i^T \right) \mathbf{y} = ZZ^T \mathbf{y}$	$v = \sum_{i=1}^r (\mathbf{y} \cdot \mathbf{z}_i) \mathbf{z}_i = \left(\sum_{i=1}^r \mathbf{z}_i \mathbf{z}_i^T \right) \mathbf{y} = ZZ^T \mathbf{y}$								
p.121 下から 12行目	駆動するための電力を共有する電源	駆動するための電力を供給する電源								
p.148 下から 10行目	10点未満, 20未満, ···	10点未満, 20点未満, ···								
p.149 下から 11行目	まずは所用時間でソートして所用時間が短い	まずは所要時間でソートして所要時間が短い								
p.149 下から 7行目	所用時間については	所要時間については								
p.151 16~17 行目	後ろから2項目までの範囲で	後ろから2番目までの範囲で								
p.181 12行目	ケースが最も最適であったとして	ケースが最適であったとして								
p.187 12行目	また、同様にプロビットモデル	また、同様にプロビット回帰モデル								
p.255 表5.8	学科	女	男	p 値	オッズ比	学科	女	男	p 値	オッズ比
	A	-	-			3.18×10^{-5}	-	A		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	C	-	-	0.75	-	C	-	-	0.39	-
	D	-	-	0.30	-	D	-	-	0.59	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
p.263 2行目	中部地方の割合 (中部地方の列プロファイル)	中部地域の割合 (中部地域の列プロファイル)								
p.277 9~10 行目	パラメータ推定量として最尤法がよく用いられる。	パラメータ推定方法として最尤法がよく用いられる。								
p.297 5行目	精密行列とばれる。	精密行列とよばれる。								